

とちぎっ子通信

こどもの健やかな成長を育むために

第 14 号

令和 5 年春号



前に進もう 私の一步 自分らしく



梅、こぶし、桜が次々駆け足のように花開き、今はもう花水木が白やピンクの花で街を彩っています。木々の若葉がどんどん元気になって、季節が前に進めと私たちの背中を押してくれているかのようです。

子どもたちも、それぞれに成長し、入学式、入園式や進級を迎え、階段を一段上がります。やっと行動制限が緩められて、お祝いの行事も以前のように晴れやかに行えるようになってきました。子どもらしくのびのびと学び遊べる生活をまた、作っていけると良いです。

安心して子どもたちにより近くでお話し、笑顔を見せて関わるが増えてきたら、子どもたちの持っている伸びる力をもっと引き出すことが出来るでしょう。

私たちもより一層、気持ちを込めて、子どもたち一人一人の発達支援とご家族への応援が出来るよう日々の診療に励んでいきたいと思えます。

とちぎっ子発達クリニック 院長 小黑範子



おしらせ

2023年4月より子宮頸がんワクチンが公費負担で受けられるようになりました。当院では、小学6年～高校1年生までの女の子は、4価(ガーダシル)・9価(シルガード)のHPVワクチンを接種することができます。9価をご希望の方は、15歳の誕生日までに1回目の接種を済ませた場合、接種回数は2回になります。

9価HPVワクチンの接種スケジュール



無料!

小6

高1

ワクチンに関すること等、
お気軽にご相談ください



日本では現在、毎年約1.1万人の女性が子宮頸がんを患い、若い年齢層で発症する割合が比較的高いがんです。HPVの感染をワクチンで防ぐことで、将来の子宮頸がんを予防できると期待されています。

集中を引き出すひと工夫

お困りごととして、「集中ができない」「すぐに気が散る」「遊びが続かない」といったことが、よく聞かれます。幼児期、学童期に求められる「集中」について、何が問題になっているのかを知り、理解することで、お子さんの困り感が軽減することに繋がります。

幼児期にきかれる問題の例

- ・遊びが長続きしない
- ・目についたものに飛びつく
- ・食事中に立ち歩く



学童期にきかれる問題の例

- ・45分の授業を聞いていられず、離席する
- ・常に身体のどこかが動いている
- ・話を聞いていない

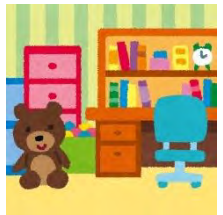


原因として考えられること

お子さんを取りまく環境や状況を振り返ってみましょう



テレビやスマホを見ながらの食事や勉強



周りに気になるものや音がある



姿勢が崩れやすい
道具が合っていない

対応例

目に入らないように片付ける、隠す



家で勉強や宿題をする時に取り入れる



集中が必要な時間の前に運動遊びを取り入れる



子どもに合う道具を見つける

